

「個性を生かす教育推進事業・小規模学校支援教員配置事業」

より多くの目で子どもを見守る

市では、子どもたちの学校生活をより多くの教員で見守ることができるよう、「個性を生かす教育推進事業」と「小規模学校支援教員配置事業」を行っています。本号では、そうした事業の概要と、一人一人の個性に応じた指導に向けて活躍する教員たちを紹介します。

よりきめ細かな指導を目指してー

少人数学習推進教員

少人数学習推進教員は、1学級の人数が多い市立小中学校に配置され、子どもたちの習熟度や興味・関心などに応じて複数のグループに分けて授業を行う「少人数学習」や、1つのクラスで複数の教員が指導に当たる「チームティーチング」を行います。子ども一人一人に教員の目が届きやす

心と体をケアー健康推進教員

健康推進教員は、児童・生徒数の多い市立小中学校に配置され、養護教諭と協力して子どもたちを心と体の両面からサポートします。けがをしたり、体調を崩したりした子どもたちが時間を問わず訪れる保健室は、さまざまな悩みを抱える思春期の児童・生徒が「心のケア」を求めて訪れる場所でもあります。子どもたちが安心して学校生活を送るためにも、養護教諭を補佐する健康推進教員の存在は重要です。

校支援教員

現在市内には、児童数が少ないため1人の担任が同じ授業時間

学年別の指導が可能にー小規模学校支援教員

2つの学年を受け持つ複式学級があります。複式学級では、異なる学習内容と同じ時間に指導することから、学習指導の難しさや子どもたちの集中力の欠如といった課題があります。これらを解消するのが小規模学校支援教員。1学年1教師で授業が行えるように配置し、学年別の段階的な学習をサポートします。

求む!!推進教員・支援教員

市教育委員会では、来年度の「少人数学習推進教員」「健康推進教員」「小規模学校支援教員」を募集します。採用期間は平成25年4月1日～26年3月31日です。募集要項は「広報なりた」12月15日号でお知らせします。あなたの熱意を教育現場で発揮してみませんか。

※くわしくは学務課(☎20・1581)へ。



川上小学校
少人数学習推進教員
秋山 由美子 先生

主に2・4・5・6年生の算数を受け持っています。担任の先生1人だと質問を遠慮していた子どもも1人教員が増えたことで、分からないところを自分から質問してくるようになりました。子どもたちが今まで以上に積極的に授業に参加する姿に、成長を感じています。

生徒が保健室に来る理由はさまざまですが、特に精神面の不調は外見では分からないので、会話をしていくうちに声のトーンなどから読み取っていかねばなりません。そのため普段から養護教諭の生徒への接し方などを見て、自分自身も日々学んでいます。



遠山中学校
健康推進教員
小川 綾子 先生

推進教員・支援教員に聞いてみました



神宮寺小学校
少人数学習推進教員
高柳 純一 先生

6年生を中心にチームティーチングで受け持っています。授業中は子どもたちに積極的に声を掛けて、集中力が途切れないようにしています。小さなことでも褒めると、子どもたちはやる気が出て頑張るんです。それはわたしも同じ。子どもからの「授業楽しかった」の声が元気の源です。

4・5年生の複式学級で5年生2人の授業を担当しています。将来たくさんの人とかかわっていけるように、大人数のクラスと同じような授業をしようと心掛けています。そのために、2人の意見が同じときは、わたしがあえて違う意見を言って、考えさせるようにしています。



東小学校
小規模学校支援教員
佐藤 利恵子 先生